平成 25 年 8 月 1 日

各　位

会　社　名　荏原実業株式会社
代表者名　代表取締役社長　鈴木久司
(コード番号：6328 東証第一部)
問い合わせ先　経営企画室長　濱野博光
電話番号　０３－５５６５－２８８５

# （訂正・数値データ訂正）平成 25 年 12 月期　第 2 四半期決算短信〔日本基準〕（連結）の一部訂正について

当社は、平成 25 年 7 月 31 日に発表しました「平成 25 年 12 月期　第 2 四半期決算短信〔日本基準〕（連結)」について一部訂正がありましたので、下記の通りお知らせいたします。また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信します。なお訂正箇所に下線を付しております。

記

## 1. 訂正の理由

当第 2 四半期連結累計期間までの業績は概ね計画通り推移しておりますが、当第 2 四半期会計期間において有価証券売却益が発生したため通期業績予想の経常利益の額を変更いたしました。

## 2. 訂正の内容

サマリー情報 1 ページ
平成 25 年 12 月期の連結業績予想（平成 25 年 1 月 1 日～平成 25 年 12 月 31 日）

（訂正前）

（%表示は、対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1 株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円　銭 |
| 通期 | 30,000 | 11.6 | 1,100 | 9.9 | 1,180 | 14.9 | 700 | △40.7 | 105 円 99 銭 |

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

（訂正後）

（%表示は、対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1 株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円　銭 |
| 通期 | 30,000 | 11.6 | 1,100 | 9.9 | 1,260 | 22.7 | 700 | △40.7 | 105 円 99 銭 |

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

添付資料３ページ

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

（訂正前）

当第２四半期連結累計期間までの業績は概ね計画通り推移しており、当期の業績予想につきましては、「平成24年12月期　決算短信」（平成25年２月７日発表）において発表した同予想から変更しておりません。

（訂正後）

当第２四半期連結累計期間までの業績は概ね計画通り推移しておりますが、当第２四半期会計期間において、有価証券売却益が発生したため、経常利益の額を11億80百万円（前年同期比14.9%増）から12億60百万円（前年同期比22.7%増）に変更しております。

以　上

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

# 平成25年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月31日

上場会社名　荏原実業株式会社　　上場取引所　東
コード番号　6328　URL　http://www.ejk.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 鈴木　久司
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長　(氏名) 濱野　博光　TEL 03-5565-2885
四半期報告書提出予定日　平成25年8月9日　配当支払開始予定日　平成25年9月5日
四半期決算補足説明資料作成の有無　:　有
四半期決算説明会開催の有無　:　有　(マスコミ・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第2四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 25年12月期第2四半期 | 15,734 | 4.2 | 841 | △25.3 | 950 | △18.6 | 518 | △28.0 |
| 24年12月期第2四半期 | 15,093 | 0.3 | 1,127 | 13.1 | 1,167 | 12.3 | 720 | 20.5 |

(注)包括利益　25年12月期第2四半期　861百万円　(6.8%)　24年12月期第2四半期　806百万円　(6.5%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---|---|---|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年12月期第2四半期 | 84.43 | — |
| 24年12月期第2四半期 | 124.09 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 25年12月期第2四半期 | 19,698 | 7,631 | 38.7 |
| 24年12月期 | 19,709 | 5,967 | 30.3 |

(参考) 自己資本　25年12月期第2四半期　7,631百万円　24年12月期　5,967百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年12月期 | — | 20.00 | — | 20.00 | 40.00 |
| 25年12月期 | — | 20.00 | | | |
| 25年12月期(予想) | | | — | 20.00 | 40.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　:　無

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年 1月 1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 30,000 | 11.6 | 1,100 | 9.9 | 1,260 | 22.7 | 700 | △40.7 | 105.99 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　:　有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 有
④ 修正再表示 ： 無

詳細については、（添付資料）P.3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧下さい。

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 25年12月期2Q | 6,715,000 株 | 24年12月期 | 6,640,000 株 |
| ② 期末自己株式数 | 25年12月期2Q | 101,346 株 | 24年12月期 | 810,866 株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 25年12月期2Q | 6,144,537 株 | 24年12月期2Q | 5,809,687 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び想定できる経済情勢、市場動向などを前提として作成したものであり、今後の様々な要因により、予想と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、（添付資料）P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧下さい。
なお、当社は平成25年4月16日を払込期日とする公募により700,000株の自己株式を処分しております。また、平成25年5月9日を払込期日とする、オーバーアロットメントによる売出しに関連して行う野村證券株式会社を割当先とする第三者割当増資により、普通株式75,000株を発行しております。平成25年12月期の連結業績予想に記載の1株当たり当期純利益は、上記公募による普通株式700,000株及び上記第三者割当増資による普通株式75,000株の増加株式を期首時点で含めて再計算しております。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9
（６）セグメント情報 …… 9

## １．当四半期決算に関する定性的情報

### （１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間（平成25年１月１日から平成25年６月30日まで）のわが国経済は、日銀の金融緩和策や新政権の成長戦略等の影響から急速に円安が進み、輸出産業を中心に企業業績の向上が見込めるとの期待から日経平均株価は大幅に上昇しました。また、不動産価格の下落に歯止めがかかったことや景気の先行きに対する懸念が和らいだこと等から、全般的に設備投資意欲の改善につながりました。

当社グループを取り巻く環境装置機械業界においては、公共分野では年初に国内の防災及び東日本大震災からの復旧・復興を目的とした13兆円の補正予算が決定したものの、全国的に案件の発注時期に遅れが見られました。また、民間分野においても電力コストの上昇懸念や地震への備えに対応した省エネ化、耐震化といった案件の増加が見込まれるものの発注時期については遅れる傾向が見られました。

このような事業環境の下、当社グループは、企業価値の向上を目指し、以下の戦略に取り組んでおります。

① エネルギーコストの上昇に対応し、省エネ・創エネ製品の拡販や製品ラインナップの充実を目指す。

② 食糧・水資源の枯渇に対応し、栽培・養殖分野におけるエンジニアリングの強化や水再生分野における製品開発に努める。

③ 震災復興に尽力することを目的に、東北エリアへの人員増強や公的資格取得の推奨を行う。

④ 国内工場の設備老朽化や製造業の国内回帰に対応し、既存客先への窓口営業の強化や取扱製品の充実を目指す。

これらの活動の結果、当第２四半期連結累計期間の受注高は115億５百万円（前年同期比18.0％減）、売上高は157億34百万円（前年同期比4.2％増）、営業利益は８億41百万円（前年同期比25.3％減）、経常利益は９億50百万円（前年同期比18.6％減）、四半期純利益は５億18百万円（前年同期比28.0％減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（環境関連）

環境関連製品の製造・販売を手掛ける当セグメントは、養殖を中心とした水産関連施設の受注が底堅く推移したものの、医療分野において新商材の投入時期が遅れたことや産業排水処理分野において発注時期のずれ込みが見られました。

これらの結果、当セグメントの受注高は29億21百万円（前年同期比31.7％減）、売上高は44億42百万円（前年同期比0.0％増）、セグメント利益は３億28百万円（前年同期比38.2％減）となりました。

（水処理関連）

上下水道向けの設計・施工を手掛ける当セグメントは、年初に復興関連の補正予算が閣議決定されたものの発注時期が遅れ気味なことや、前年同期に下水処理場向けの大型プラント案件を獲得したこと等から受注高は減少しました。売上高は、一部案件について施工完了時期のずれ込みが見られたものの、期初における手持ち受注残高が豊富だったこと等から前年同期に比べ増加しました。

これらの結果、当セグメントの受注高は33億79百万円（前年同期比1.6％減）、売上高は56億69百万円（前年同期比11.2％増）、セグメント利益は５億37百万円（前年同期比1.4％減）となりました。

（風水力冷熱機器等関連）

主にポンプ、冷凍機、空調機器などを商社として販売する当セグメントは、都市再開発向けにポンプ等の販売が底堅く推移したほか、米軍向けに各種産業機器の販売も堅調に推移しました。しかしながら、発注時期については全般的に遅れる傾向にあり、受注高は前年同期を下回りました。

これらの結果、当セグメントの受注高は52億４百万円（前年同期比17.6％減）となり、売上高は56億21百万円（前年同期比1.2％増）、セグメント利益は３億24百万円（前年同期比8.9％減）となりました。

当第２四半期連結累計期間の受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

| セグメントの名称 | 受注高(百万円) | 前年同期比(％) | 受注残高(百万円) | 前年同期比(％) |
|---|---|---|---|---|
| 環境関連 | 2,921 | 68.3 | 3,137 | 93.3 |
| 水処理関連 | 3,379 | 98.4 | 4,806 | 130.6 |
| 風水力冷熱機器等関連 | 5,204 | 82.4 | 3,812 | 88.2 |
| 合計 | 11,505 | 82.0 | 11,756 | 103.4 |

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①　財政状態

当第２四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ11百万円減少し、196億98百万円となりました。主な変動要因は、現金及び預金８億88百万円の増加、投資有価証券５億82百万円の増加、繰延税金資産４億８百万円の減少、受取手形及び売掛金６億93百万円の減少、たな卸資産２億28百万円の減少などであります。

当第２四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比べ16億74百万円減少し、120億67百万円となりました。主な変動要因は、前受金９億65百万円の減少、支払手形及び買掛金４億58百万円の減少などであります。

当第２四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比べ16億63百万円増加し、76億31百万円となりました。自己株式の処分によって自己株式が11億40百万円減少したことや、保有有価証券の時価上昇によってその他有価証券評価差額金が３億42百万円増加したことなどが主な変動要因であります。なお、自己資本比率は前連結会計年度末の30.3%から38.7%となりました。

②　キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ９億43百万円増加し、33億80百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は１億73百万円（前年同期比86.6%減）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益８億65百万円の計上、売上債権６億93百万円の減少、仕入債務４億58百万円の減少、前受金９億65百万円の減少などであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は９百万円（前年同期は２億17百万円の使用）となりました。主な要因は、投資有価証券の取得による支出２億18百万円、投資有価証券の売却による収入２億41百万円などであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は７億60百万円（前年同期は76百万円の使用）となりました。主な要因は、自己株式の売却による収入８億27百万円、株式の発行による収入87百万円、配当金の支払額１億18百万円などであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間までの業績は概ね計画通り推移しておりますが、当第２四半期会計期間において、有価証券売却益が発生したため、経常利益の額を11億80百万円（前年同期比14.9%増）から12億60百万円（前年同期比22.7%増）に変更しております。

## ２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成25年１月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる損益に与える影響は軽微であります。

## ３．四半期連結財務諸表

### （１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度<br>(平成24年12月31日) | 当第２四半期連結会計期間<br>(平成25年６月30日) |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,519 | 3,407 |
| 受取手形及び売掛金 | 8,277 | 7,583 |
| 商品及び製品 | 847 | 846 |
| 仕掛品 | 139 | 181 |
| 未成工事支出金 | 471 | 204 |
| 原材料及び貯蔵品 | 152 | 149 |
| 繰延税金資産 | 191 | 46 |
| その他 | 358 | 225 |
| 貸倒引当金 | △3 | △3 |
| 流動資産合計 | 12,953 | 12,642 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 2,050 | 2,049 |
| 減価償却累計額 | △1,132 | △1,156 |
| 建物及び構築物（純額） | 918 | 893 |
| 機械装置及び運搬具 | 122 | 120 |
| 減価償却累計額 | △86 | △91 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 35 | 29 |
| 工具、器具及び備品 | 344 | 349 |
| 減価償却累計額 | △280 | △284 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 63 | 64 |
| 土地 | 1,049 | 1,049 |
| その他 | 19 | 97 |
| 減価償却累計額 | △12 | △14 |
| その他（純額） | 7 | 83 |
| 有形固定資産合計 | 2,073 | 2,120 |
| 無形固定資産 | 59 | 60 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 1,644 | 2,226 |
| 保険積立金 | 1,247 | 1,230 |
| 投資不動産（純額） | 869 | 857 |
| 繰延税金資産 | 275 | 11 |
| その他 | 653 | 603 |
| 貸倒引当金 | △67 | △55 |
| 投資その他の資産合計 | 4,622 | 4,875 |
| 固定資産合計 | 6,756 | 7,055 |
| 資産合計 | 19,709 | 19,698 |

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度<br>(平成24年12月31日) | 当第２四半期連結会計期間<br>(平成25年６月30日) |
|---|---|---|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 8,306 | 7,848 |
| 短期借入金 | 1,560 | 1,540 |
| 未払法人税等 | 27 | 77 |
| 未払消費税等 | 56 | 89 |
| 前受金 | 2,011 | 1,046 |
| その他 | 557 | 617 |
| 流動負債合計 | 12,518 | 11,219 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 99 | 85 |
| 退職給付引当金 | 440 | 412 |
| 役員退職慰労引当金 | 581 | 217 |
| その他 | 102 | 132 |
| 固定負債合計 | 1,222 | 847 |
| 負債合計 | 13,741 | 12,067 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 957 | 1,001 |
| 資本剰余金 | 787 | 831 |
| 利益剰余金 | 5,239 | 5,331 |
| 自己株式 | △1,263 | △123 |
| 株主資本合計 | 5,719 | 7,040 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 247 | 590 |
| その他の包括利益累計額合計 | 247 | 590 |
| 純資産合計 | 5,967 | 7,631 |
| 負債純資産合計 | 19,709 | 19,698 |

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

| | 前第２四半期連結累計期間<br>(自 平成24年１月１日<br>至 平成24年６月30日) | 当第２四半期連結累計期間<br>(自 平成25年１月１日<br>至 平成25年６月30日) |
|---|---|---|
| 売上高 | 15,093 | 15,734 |
| 売上原価 | 11,385 | 12,314 |
| 売上総利益 | 3,707 | 3,419 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,580 | 2,578 |
| 営業利益 | 1,127 | 841 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 4 | 2 |
| 受取配当金 | 17 | 15 |
| 投資不動産賃貸料 | 53 | 45 |
| 投資有価証券売却益 | － | 69 |
| 為替差益 | 0 | － |
| その他 | 8 | 33 |
| 営業外収益合計 | 84 | 166 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 7 | 7 |
| 不動産賃貸費用 | 25 | 34 |
| 為替差損 | － | 0 |
| その他 | 11 | 15 |
| 営業外費用合計 | 44 | 58 |
| 経常利益 | 1,167 | 950 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 1 | － |
| 特別利益合計 | 1 | － |
| 特別損失 | | |
| 固定資産処分損 | － | 1 |
| 投資有価証券評価損 | － | 82 |
| 特別損失合計 | － | 84 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,169 | 865 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 439 | 67 |
| 法人税等調整額 | 9 | 279 |
| 法人税等合計 | 448 | 346 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 720 | 518 |
| 四半期純利益 | 720 | 518 |

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

| | 前第２四半期連結累計期間<br>(自　平成24年１月１日<br>至　平成24年６月30日) | 当第２四半期連結累計期間<br>(自　平成25年１月１日<br>至　平成25年６月30日) |
|---|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 720 | 518 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 86 | 342 |
| 為替換算調整勘定 | △0 | － |
| その他の包括利益合計 | 85 | 342 |
| 四半期包括利益 | 806 | 861 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 806 | 861 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | － | － |

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

| | 前第２四半期連結累計期間<br>(自　平成24年１月１日<br>至　平成24年６月30日) | 当第２四半期連結累計期間<br>(自　平成25年１月１日<br>至　平成25年６月30日) |
|---|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,169 | 865 |
| 減価償却費 | 75 | 71 |
| 貸倒引当金の増減額（△は減少） | △4 | △2 |
| 退職給付引当金の増減額（△は減少） | △26 | △27 |
| 役員退職慰労引当金の増減額（△は減少） | △15 | △364 |
| 受取利息及び受取配当金 | △22 | △17 |
| 支払利息 | 7 | 7 |
| 投資有価証券売却損益（△は益） | △1 | △69 |
| 固定資産処分損益（△は益） | － | 1 |
| 投資有価証券評価損益（△は益） | － | 82 |
| 売上債権の増減額（△は増加） | 500 | 693 |
| たな卸資産の増減額（△は増加） | 312 | 228 |
| 仕入債務の増減額（△は減少） | △255 | △458 |
| 前受金の増減額（△は減少） | △176 | △965 |
| 未払又は未収消費税等の増減額 | 6 | 33 |
| その他 | 35 | △45 |
| 小計 | 1,604 | 33 |
| 利息及び配当金の受取額 | 22 | 17 |
| 利息の支払額 | △7 | △7 |
| 法人税等の支払額 | △325 | △27 |
| 法人税等の還付額 | － | 157 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,294 | 173 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △100 | － |
| 定期預金の払戻による収入 | 100 | － |
| 拘束性預金の純増減額（△は増加） | △27 | 55 |
| 有価証券の取得による支出 | △100 | － |
| 有形固定資産の取得による支出 | △37 | △97 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △11 | △14 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △18 | △218 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 1 | 241 |
| 保険積立金の解約による収入 | 13 | 69 |
| 貸付金の回収による収入 | － | 43 |
| その他 | △36 | △68 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △217 | 9 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額（△は減少） | 45 | △20 |
| 長期借入金の返済による支出 | △14 | △13 |
| 株式の発行による収入 | － | 87 |
| 自己株式の売却による収入 | 13 | 827 |
| 配当金の支払額 | △118 | △118 |
| その他 | △2 | △2 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △76 | 760 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 0 | － |
| 現金及び現金同等物の増減額（△は減少） | 1,000 | 943 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,588 | 2,436 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 2,589 | 3,380 |

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
当社は、平成25年４月16日を払込期日とする公募による自己株式の処分（一般募集）を行ったことに伴い自己株式処分差損が３億７百万円発生したことにより、当第２四半期連結累計期間において同額利益剰余金が減少するとともに、自己株式が11億29百万円減少しております。
また、平成25年５月９日を払込期日とする第三者割当による新株式発行（オーバーアロットメントによる当社株式の売出しに関連する第三者割当）を行い、当第２四半期連結累計期間において資本金及び資本剰余金がそれぞれ44百万円増加しております。
これらの結果、当第２四半期連結会計期間末において資本金が10億１百万円、資本剰余金が８億31百万円、利益剰余金が53億31百万円、自己株式が１億23百万円となっております。

（６）セグメント情報
Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自　平成24年１月１日　至　平成24年６月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | | 合計 | 調整額(注)１ | 四半期連結損益計算書計上額(注)２ |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 環境関連 | 水処理関連 | 風水力冷熱機器等関連 | | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 4,441 | 5,097 | 5,555 | 15,093 | － | 15,093 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | － | － | － | － | － | － |
| 計 | 4,441 | 5,097 | 5,555 | 15,093 | － | 15,093 |
| セグメント利益 | 531 | 545 | 356 | 1,432 | △305 | 1,127 |

（注）１．セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自　平成25年１月１日　至　平成25年６月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | | 合計 | 調整額(注)１ | 四半期連結損益計算書計上額(注)２ |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 環境関連 | 水処理関連 | 風水力冷熱機器等関連 | | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 4,442 | 5,669 | 5,621 | 15,734 | － | 15,734 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | － | － | － | － | － | － |
| 計 | 4,442 | 5,669 | 5,621 | 15,734 | － | 15,734 |
| セグメント利益 | 328 | 537 | 324 | 1,190 | △348 | 841 |

（注）１．セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。